

第 29 回 電磁環境技術委員会議事録(案)

日 時：平成 18 年 4 月 18 日（火）14:00～17:00

場 所：社団法人電気学会 第一会議室

出席者：河崎委員長（阪大），嶺岸（東北学院大），多氣（首大），福永（NICT），菊池（東電），上地（関電）各 1 号委員，宅間（電中研），黒野（電中研・堀井代理）各 2 号委員
水野幹事（名工大），舟木幹事（京大）

提出資料：

第 28 回電磁環境技術委員会議事録（案）	舟木
EMC29-1 第 67 回基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会議事録	河崎
EMC29-2-1 平成 18 年度 A 部門事業計画(案)	河崎
EMC29-2-2 平成 18 年度 A 部門予算案申請表及びコメント表	河崎
EMC29-2-3 A 部門調査運営委員会資料 卓越技術 DB 委員会活動報告	河崎
EMC29-2-4 A 部門活動資金運用状況	河崎
EMC29-2-5 A 部門調査運営委員会資料 A 部門専門委員会 事務手続き状況	河崎
EMC29-2-6 A 部門調査運営委員会資料 平成 17 年度研究会開催計画と実績	河崎
EMC29-2-7 A 部門調査運営委員会資料平成 17 年度委員会技術会合などの計画と実績	河崎
EMC29-2-8 A 部門調査運営委員会資料 HP 関連	河崎
EMC29-2-9 大韓電気学会 C 部門と電気学会 A 部門との連携について	河崎
EMC29-2-10 編集長導入について	河崎
EMC29-2-11 平成 17 年度優秀論文発表賞受賞候補者一覧	河崎
EMC29-2-12 2005 年度技術報告廃棄リスト	河崎
EMC29-3 電磁界による体内誘導電界・電流調査専門委員会解散報告書(案)	宅間
EMC29-4 不均一及び過渡的な電磁界による体内誘導量評価技術調査専門委員会設置趣意書(案)	藤原
EMC29-5 電気学会と他学会の共催研究会開催の連絡と研究会 6 月号会告原稿送付について	舟木

議事要旨：(以下発言委員名については敬称略)

1. 委員長の挨拶
2. 第 28 回電磁環境技術委員会議事録の確認
舟木幹事より第 28 回電磁環境技術委員会議事録の確認が行なわれた。
羽田の管制障害を電磁環境攻撃と結びつけるのはまずいので，表現の変更必要(菊池)。電磁環境障害でよいか(河崎)。
訂正し，案をとったものを委員にメールで配布することとなった。
3. 第 67 回基礎・材料・共通部門研究調査運営委員会について（資料 EMC28-9-2）
 - (ア) EMC-29-2-1 について。
 - 国際化については，アジア各国との連携を視野に入れた検討を行っている(河崎)。
 - (イ) EMC-29-2-9 について。
 - 韓国電気学会 C 部門との連携について要請が来ている。放電研究会は，既に実施済

み。部門大会はやってみようという意見があった(河崎)。

(ウ) EMC-29-2-2 について

- 予算案は既に承認済み(河崎)。
- 収入も支出も減りつつある。部門収入は部門所属会員で決まることとなった。すなわち、会費一万円のうち、4割程度を部門会計に充当する。所属会員数の算出基準について、会員数に占める学生員の数については部門間で差はなく、特段考慮する必要がないことが調査の結果わかった。一方、現在の会計基準で行くと、学会本来の姿として適切かどうかは別として、B部門は所属会員数に比べ学会活動に参加(論文投稿)する会員の数が少ないため、非常に優良会計となっている。すなわち、単純に赤字・黒字で活動を評価できない。昨年度から言っていたが、活動資金の形式が変更される。ただし、実際には問題なく運用できるようになっている。(福永)

(エ) EMC-29-2-3 について

- 卓越技術データベースについて。本委員会からは富田委員に担当をお願いしたが、都合が悪いとうかがっている。その後どうなっているか？(河崎)電中研宮島氏に依頼先を変更済み。(舟木)

(オ) EMC-29-2-4 について

- 活動資金運用状況について、これまでこれを技術委員会で紹介されていなかったが、これを紹介してもかまわないのか(河崎)？問題ない(福永)。
- 活動資金については、今回から予算化された。シンポジウム等の定常的に毎年資金提供してきたものについては、既に予算化している。謝礼等は、予備費として計上することになった。(福永)
- 平成17年度の会計報告について、本技術委員会の分が計上されていないのは、運営委員会時に執行していなかったため。予算については、二月末に技術委員会のホームページ整備に使用した。(河崎)

(カ) EMC-29-2-5 について

- 専門委員会の状況
 1. 地震前駆現象委 既に調査報告書が発行された(河崎)。
 2. ホームネットワーク委 4月に刊行されている(河崎)。
 3. 体内誘導委 解散報告書提出予定(河崎)。
 4. 雷害リスク委 解散報告書準備中(河崎)。
 5. PLC委 本年12月に解散予定(河崎)。
 6. 地震予知 順調に進行中(河崎)。
 7. 新体内誘導委 設置趣意書提出予定(河崎)。
 8. 新電磁環境攻撃委 攻撃という表現が、羽田の管制障害とリンクされるのは非常に都合が悪い(菊池)。新委員会のネタでNICTにお願いするというのはどうなったか(河崎)？漏洩電磁波に対するEMCセキュリティならば、三菱瀬戸氏が情報が入った信号について研究を行っており、NICTにその関係者がいるが、業界主導で動いていることから、学術的な側面に欠けるきらいがある、但し脈はある(福永)。技術委員会の委員長と幹事で改めて挨拶に伺うのでよろしく(河崎)。

(キ) EMC-29-2-6 について

- 研究会開催実績を紹介。(河崎)
- 平成 18 年度について
 1. 6/29 研究会 地震予知委 電磁界理論・自然災害委との共催(黒野)。
 2. 11 月研究会 体内誘導委 開催予定(宅間)。
 3. 12 月研究会 通信学会の共催。藤原先生が担当。確認する(水野)。
 4. 1/17 研究会 大阪です(河崎)。
 5. PLC 委 徳田先生に確認(河崎)。

(ク) EMC-29-2-11 について

- 優秀論文発表賞について新井さんに決定(河崎)。
- 本委員会はそれなりに研究会をやっているのだから、枠として 1 を継続的に確保している。このペースを保ちたい。(河崎)

(ケ) EMC-29-2-7 について

- 見学会は、10 月に自由電子レーザを考えている。泊まりで宴会をして、腹を割って話したい。(河崎)

(コ) EMC-29-2-8 について

- 本委員会のホームページについて、活動資金を用いてアルバイトにより作成済み。公開に移せる状況にあるので、五月にアップする予定。(河崎)

(サ) EMC-29-2-10 について

- エディタ制導入となった。ある程度、編集長の裁量で判断できるようになった。エディタ制導入については、ないよりはましになったと考えていただきたい。これで、特集号に対する障壁も若干低くなったと考える。(河崎)

(シ) EMC-29-2-12 について

- 本委員会分について、廃棄されたものはまだない。No949 については、半分売れたので収支はトントン。No992 については、半分ちょっと売れたので、収入の方が上回っている。今後も、廃棄リストに入らないよう、がんばって売ってもらいたい。(河崎)

(ス) EMC-29-3 について

- 宅間委員より、解散報告書について朗読があった。
- 三月に終了、六月末に調査報告書の原稿提出としたい。このため、整理委員会を五月中旬に開催予定(宅間)。六月に入稿したら、いつ刷り上るのか(上地)?三ヶ月程度を見込んでいる(宅間)。
- 本委員会でもっとも苦労した点は、テーマとして低周波、中周波、高周波を含む比較計算を題材にあげたことにある(宅間)。
- 報告書の販売予定数について、300 部とあるが、もっと売れるのではないかと(河崎)?販売先としては、二種類考えれるが、第一の EMF 関連業界は数が限定されており、第二のこれを利用しようとする例えば医療関連応用の業界は未知数である(宅間)。
- 数値解析パッケージの販売・公開等を行わないのか(河崎)?膨大な内容になるのでマ

ニュアルの整備等本腰を入れてやらないと到底対応できないので、現実的には非常に難しい(宅間)。

- 報告書販促のための講演会の予定は(河崎)? 12月に東京で開催予定(宅間)。
- 5/15のA部門運営委員会に提出させていただく(河崎)。

(セ) EMC-29-4 について

- 設置趣意書について、代理の水野幹事より朗読があった。
 1. 小型プローブについてとあるが、小型プローブについて見識のある青学西澤氏の名前が委員候補に見当たらないが(河崎)? 西澤氏は、家電製品の漏洩磁界を計測しているが、最近ドイツのメンバーとして会議に出てきている(福永)。青学橋本先生は、前委員会には参加していただいていたが出席が悪かったこともあり、新委員会では前委員会の出席率が低いところを除くという方針のようなので除かれているが、上記の理由もあり依頼中である(宅間)。公募で対応することで良いのではないか。(河崎)
 2. 目的 5行目 「桁違いに」は言い過ぎではないか(多氣)? レベルの違い(宅間)。
 3. 目的 第2段落1行目 「曝される」の目的語に相当する語句(われわれ、人など)が無いのが気になる。(河崎)主語がない(菊池)。人が~するではないか(宅間)。
 4. 内外の趨勢 第2段落6行目 「解剖学的に」は言い過ぎではないか(河崎)。さらに細かい話をする場合には「組織学的に」となるであろうことから、これで良さそう(舟木)。
 5. その他 「報告書」に「」がついているのは、通常の技術報告とは異なる形態(単行本等)を想定しているということか、技術報告であれば「」は不要(福永)。また、技術報告以外を視野に入れていても、ここでは「」をつけず単に報告書としておけば良い(宅間)。
 6. 委員 水間委員の所属「交通研」は、広く認知された略称かどうか(多氣)。フルネームにしてはどうか(河崎)。

4. その他

(ア) 年次計画

- 研究会については、既に議論済み。
- 調査専門委員会をもうひとつ増やしたい(河崎)。

5. 次回は、平成18年7月25日14時~17時。電気学会第1会議室。

以上